

第十回 日経 STOCK リーグ レポート

Only One を作り出す

～ 次世代の技術を作る ～

ID : SL100959

学校名 : 静岡県立浜松西高等学校・中等部

チームリーダー : 南平眞理 (三年)

メンバー : 長谷川敬介 (三年)

森拓人 (三年)

指導教諭 : 向井稔 (地歴・公民)

私たちが投資した会社 14 社

業種	証券コード	銘柄名	上場市場	投資金額
化学	3407	旭化成	東証 1 部	224,700
化学	4109	ステラ ケミファ	東証 1 部	212,640
化学工業	4901	富士フイルムホールディングス	東証 1 部	226,080
非鉄金属・ 金属製品	5802	住友電気工業	東証 1 部	480,340
機械	6255	エヌ・ピー・シー	東証マザーズ	452,100
機械	6277	ホソカワミクロン	東証 1 部	332,050
電気機器	6674	ジーエス・ユアサ コーポレーシ ョン	東証 1 部	419,520
電気機器	6727	ワコム	東証 1 部	514,640
電気機器	6752	パナソニック	東証 1 部	316,635
電気機器	6753	シャープ	東証 1 部	226,252
電気機器	6934	新神戸電機	東証 1 部	208,104
精密機器	7731	ニコン	東証 1 部	410,280
電力	9502	中部電力	東証 1 部	510,510
電力	9508	九州電力	東証 1 部	393,093
合計金額				4,926,944

目次

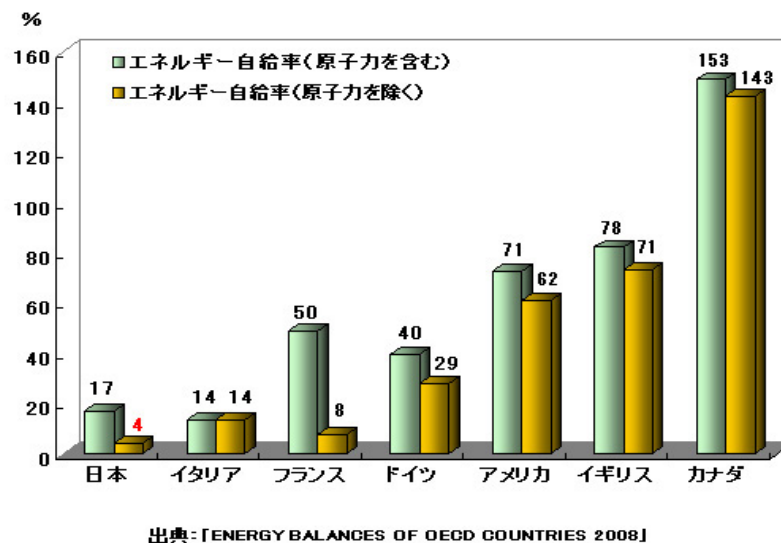
1. プロローグ
2. 株式の選択
3. 企業研究
4. エピローグ

1. プロローグ

今、一年前のリーマンショックから続く不況の中、中国が目覚ましい発展を続けています。今年の2月には上海証券取引所の売買代金が東京証券取引所を抜き、世界第三位の座を固めつつあるとの記事も発表されました。高度経済成長で大きな発展を遂げた日本ですが、中国やアメリカ、EU 各国と比較して、重要な欠点があると私たちは思います。それは日本には使える土地が少ないことです。面積だけで比較しても、日本にはおよそ3645万 ha の広さしかなく、また、日本は山地が61%を占めているため、使用可能な土地が少ないことも問題です。そのほかにも、人口は1億2000万人と中国やインド、アメリカなどと比べて少なく、ヨーロッパのEUのような組織も存在しないため内需のみに頼っていくことは困難です。面積の問題から農業大国になることも難しく、工業生産の面で見ても、人件費の高さにより、価格競争で新興国に勝つことは困難です。その良い例が100円ショップではないでしょうか。100円ショップの製品で、日本製のものはほとんどありません。中国製、タイ製あるいはベトナム製が主です。しかし、それらの製品の元となる技術開発ならば、面積・人口・人件費などの影響は少なく、日本は自身が抱える様々なハンデを押しつけて世界と戦っていくことができます。日本の技術が素晴らしければ、日本は様々な国からの投資を受けるでしょう。つまり、これから十年、二十年先の未来を考えたとき、日本独自の技術が存在することが日本が発展していくための必要条件となってくると、私たちは考えました。そのため、新たな技術を生む上で必要な土台を作れる技術というのに注目しました。

そのなかで太陽電池関係の企業を数多く入れた理由は、日本の弱点を埋める一手になりうると考えたからです。

ところで、日本はエネルギー自給率がとても低く、また資源自給率はもっと低いのです。北陸電力のホームページで次のような資料が見つかりました。



ここでなぜ私たちがエネルギーに注目したか、ということ述べたいと思います。それは、エネルギーへの投資が、技術開発への貢献だけでなく、社会への貢献にも繋がると考えたからです。「クリーンエネルギー」、それは、世界の環境問題を考えたときに一番に考えていかなければならないことだと思います。「エネルギー技術」それ自体が、世界に売り出していく only one の技術になっていくのではないのでしょうか。それを確信したのはニュートンの 2009 年 9 月号の特集からです。以下がその記事です。

太陽光発電は、天候、季節、時間帯に左右されやすい。そこで、1989年にオーストラリアで開催された国際会議で、「ジェネシス計画」が提唱された。これは、大規模な太陽光発電所を、世界の砂漠に分散配置し、各砂漠の太陽光発電所と世界の都市を電気抵抗ゼロの超伝導ケーブルでむすび、昼の世界から夜の世界へ電機を送り込もうという計画だ。この計画に必要な砂漠の面積は、ゴビ砂漠の約半分65平方キロメートル。決して非現実的なものではない。「2030年には実現できると考えている」と桑野理事長は言う。

この計画を日本の企業主体で行って欲しいと私たちは思いました。そのため、太陽電池の関連技術にも投資することにしました。

その関連技術の筆頭として私たちが押したのはリチウムイオン電池です。同じく、ニュ

ートンによると

太陽電池の発電の蓄電に最適な電池は、リチウム電池らしい。（東北大学大学院環境科学研究科の田路和幸教授によると）多くの蓄電池は、事故放電によって蓄えた電気を多少なりとも失ってしまうが、リチウム電池にはそれがない。又、「電気が残っているうちに充電すると、蓄電池の容量が減少する(メモリー効果)」というほかの蓄電池が持っている弱点も持っていない。寿命は、10 年くらいである。

ということです。また、エコを売り出していくという点からも only one の技術を使って環境事業を進めている企業を優先的に選びました。また、研究をする上でも環境への配慮というのは必要不可欠なものと考えました。

以上が、「Only One!! ～世界に誇る、日本の技術～」というテーマを設定した理由です。

また、私たちが企業を選択するときに重視したものは以下の 3 点です。

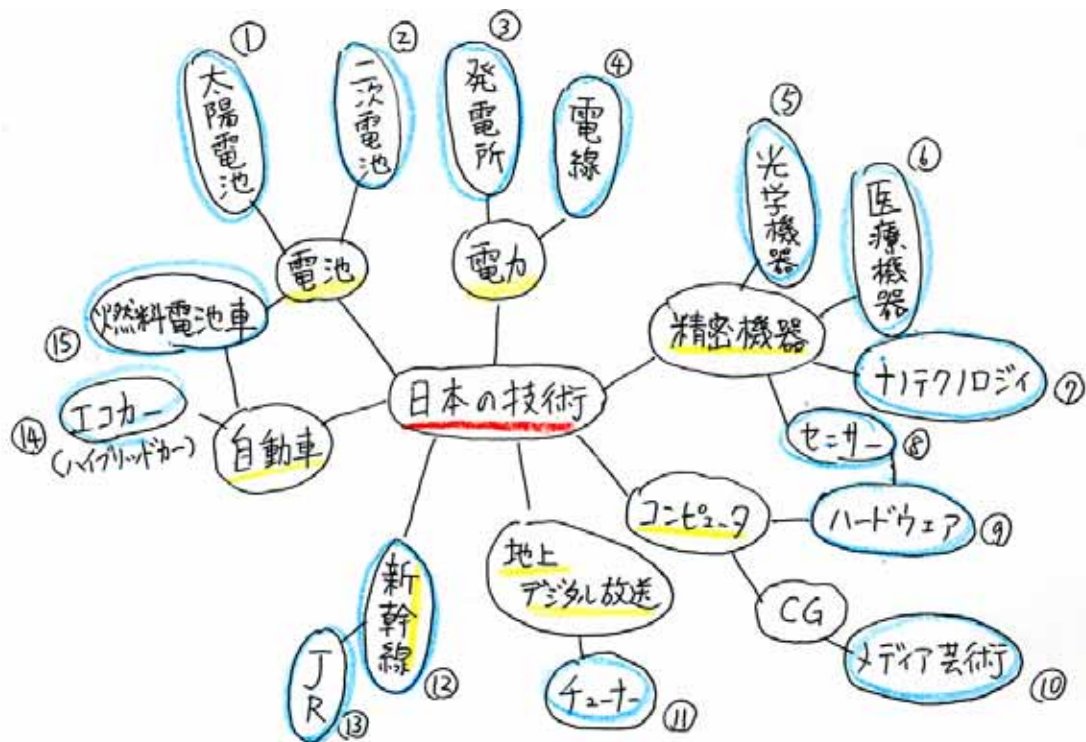
- 1．独自の技術を持っている企業であること、もしくはそれを支援する企業であること。
- 2．輸出競争力に優れた製品を製造していること、また競争に耐えられる企業なのか。
- 3．その業界におけるシェアの高い製品、only, one といえるのかどうか。

これらの 3 点に優れ、また何か私たちの心に響くものを持った企業を、数ある企業の中から 16 社選択しました。

2. 株式の選択

(1) ウェビング

テーマに合わせ、まず私たちの考える独自の技術を持つ業界をウェビングしてみました。



その後、

(2) 企業のリストアップ

http://www.city.yokohama.jp/me/stat/census/kogyo/2002/pdf/sankaku_taiou.pdf

の、工業統計調査用産業分類新旧対応表を参考に、独自の技術を持つ業界をウェビングしました。また、それらの業界における代表的な企業をリストアップしました。

- 1 富士紡ホールディングス、トクヤマ、三井化学、エヌ・ピー・シー、アルバック、シャープ、三洋電機、東京エレクトロン
- 2 旭化成、日本化学工業、ステラ ケミファ、日本カーボン、ジーエス・ユアサ コーポレーション、パナソニック

- 3 中部電力、九州電力
- 4 住友電気工業
- 5 富士フイルムホールディングス、ニコン、オリンパス
- 6 富士フイルムホールディングス、オムロン、オリンパス
- 7 三菱ケミカルホールディングス、ホソカワミクロン
- 8 オムロン、ワコム、キーエンス、村田製作所
- 9 日本電気、富士通、東芝
- 10 ゴンゾ、IG ポート
- 11 マスプロ電工
- 12 日本車輛製造
- 13 東日本旅客鉄道
- 14 トヨタ自動車
- 15 三菱自動車

3. 企業研究

企業研究の方法は、2で挙げた37企業を、私たち独自の選抜基準に通して、最終的に14企業を購入することにしました。

1 日経会社情報、NIKKEI net、各企業のホームページなどから、

1、 企業の概要

・・・投資する企業を決定するには、まず企業のことを知っていないてはなりません。

2、 自己資本比率

・・・不況の今を生き残るためには、まず企業そのものが安定していることが必要です。その指標として、私たちは自己資本比率を挙げました。

3、 自己資本利益率

・・・安定した企業でも、経営効率がよくないと利益は出ず、成長は期待できません。そのため、私たちはその指標として、自己資本利益率を挙げました。

の三点について調べ、データを以下のようにまとめました。

また、

2 各企業のホームページから、それぞれの技術開発の特色を調べました。

3 企業研究の結果、購入する企業14社、またそれぞれの企業について応援したい点などをまとめました。

1 ア．企業の概要

事業内容がテーマにあっていると思う順に、「プロローグ」で述べた三点についてA,B,Cの三段階で評価をつけました。1 点目「独自の技術を持っているか」は概要より判断しました。2 点目「輸出競争力に優れた製品を製造しているか」は、売上高全体に占める輸出比率が20%未満の場合はC、20%以上50%未満の場合はB、50%以上の場合はAをつけました。3 点目については、その企業の製品が業界内に占めるシェアなどから判断しました。（2 . について、発表のないものは-としています。）

会社名	コード	概要	1	2	3	総合
富士紡ホールディングス	3104	細番手高級綿糸大手。テキスタイル比率高い。二次製品を拡充。	C	C	B	C
旭化成	3407	総合化学。住宅・化学品・医療・繊維・建材などに多角化。	B	B	B	B
ゴンゾ	3755	アニメ企画・製作。CG を駆使したアニメに強み。7 月 30 日東証マザーズ上場廃止。	-	-	-	-
IG ポート	3791	アニメ企画・製作。CG を駆使したアニメに強み。版權管理も。	B	-	B	B
トクヤマ	4043	化学品・セメント中堅。シリコン・ファインへの展開進む。	C	B	B	B
日本化学工業	4092	無機薬品メーカー。リン製品・クロム塩類のシェア高い。	C	C	A	B
ステラ ケミファ	4109	フッ素化合物大手。半導体洗浄剤など高純度化合物に強み。	A	B	B	B
三井化学	4183	総合化学大手。フェノール最大手。電材・機能性樹脂にも展開。	C	C	A	B
三菱ケミカルホールディングス	4188	総合化学首位。エチレン生産最大。医薬も柱。電材・炭素も強い。	B	B	A	B
富士フイルムホールディングス	4901	多角化。写真主体から複写機・医療・印刷・液晶材料などに転換。	B	A	B	B
日本カーボン	5302	電極大手。炭素繊維の用途多角化。航空宇宙向け新素材を開発。	B	B	B	B
住友電気工業	5802	電線最大手。銅線から電線、通信線へ。光ファイバーも先行。	B	B	A	B
エヌ・ピー・シー	6255	太陽電池の製造装置。様々な技術を蓄積。ラインを一括受注。	A	A	B	A
ホソカワミクロン	6277	粉体製造装置。高い技術力。M&A 戦略転換し事業集中進める。	A	A	A	A
東芝	6502	電機大手。原発に強み。半導体高シェア。デジタル機器も強い。	B	A	B	B
オムロン	6645	制御機器大手。電子部品や車載部品、健康器具も手がける。	B	A	B	B
ジーエス・ユアサ	6674	鉛蓄電池大手。YUASA と日本電池が設立した持ち株会社	B	B	B	B
日本電気	6701	代表的ハイテク企業。通信、IT 機器に強み。サービスにも力。	B	B	B	B
富士通	6702	コンピューター大手。半導体なども。公共向け売り上げ比率高い。	B	B	B	B
ワコム	6727	タブレット大手。国内シェアトップ。CAD ソフトの開発も。	B	A	A	A

アルバック	6728	薄型ディスプレイ製造装置大手。真空技術に強み。海外も拡大。	A	A	B	A
マスプロ電工	6749	BS アンテナの最大手。衛星を利用した通信機器の開発に力。	C	-	A	B
パナソニック	6752	家電トップ。デジタル AV、モバイル、デバイスに経営資源を集中。	A	B	A	A
シャープ	6753	液晶大手。デバイスも収益源。液晶カラーテレビなど応用機器に力。	A	A	B	A
三洋電機	6764	大手家電メーカー。業績低迷で家電事業縮小し環境関連にシフト。	A	A	B	A
キーエンス	6861	FA 用センサー大手。生産の大半を外部委託。直販体制に強み。	B	B	B	B
新神戸電機	6934	自動車用電池が主力。高機能樹脂製品、ゴルフカートにも強み。	B	-	B	B
村田製作所	6981	電子部品の大手。セラミックコンデンサー首位。材料から一括生産。	A	A	B	A
日本車輛製造	7102	鉄道車両の大手。海外開拓を強化。建機や環境事業で多角化も。	A	C	B	B
トヨタ自動車	7203	製造業首位。海外展開加速。環境技術も優位。資金量三兆円維持。	A	A	A	A
三菱自動車工業	7211	三菱グループ主導で建て直し。三菱重工業の持ち分法適用会社。	A	A	B	B
ニコン	7731	光学大手。カメラと回路露光装置が 2 本柱。高級一眼レフに強み。	B	A	B	B
オリンパス	7733	内視鏡で世界首位。情報関連など多角化に注力。研究開発投資は高水準。	A	A	A	A
東京エレクトロン	8035	製造装置最大手。半導体・液晶向けが主力。太陽電池に参入。	B	A	A	A
東日本旅客鉄道	9020	国内最大の鉄道会社。JR7 社のリーダー格。関連事業を強化。	C	-	C	C
中部電力	9502	全国 3 位の大手。中部財界の雄。電力・ガスなど本業に注力。	C	-	A	B
九州電力	9508	電力 5 位。全国の離島発電の 6 割集中。原子力比率高い。	C	-	B	B

・ 7533 ゴンゾ は上場廃止のため評価していません。

1 イ．自己資本比率

自己資本比率は 2009 年 11 月現在の直近実績値が 30%未満の企業には C、30%以上 50%未満は B、50%以上には A をつけ、評価しました。

会社名	証券コード	自己資本比率(%)	評価
富士紡ホールディングス	3104	26.3	C
旭化成	3407	43.8	B

ゴンゾ	3755	-	-
IG ポート	3791	64.3	A
トクヤマ	4043	45.5	B
日本化学工業	4092	45.8	B
ステラ ケミファ	4109	41.2	B
三井化学	4183	29.4	C
三菱ケミカルホールディングス	4188	24.4	C
富士フイルムホールディングス	4901	60.6	A
日本カーボン	5302	43.4	B
住友電気工業	5802	46.1	B
エヌ・ピー・シー	6255	54.7	A
ホソカワミクロン	6277	48.5	B
東芝	6502	8.2	C
オムロン	6645	55.4	A
ジーエス・ユアサ	6674	28.4	C
日本電気	6701	20.9	C
富士通	6702	23.2	C
ワコム	6727	69.4	A
アルバック	6728	26.4	C
マスプロ電工	6749	74.2	A
パナソニック	6752	43.5	B
シャープ	6753	38.6	B
三洋電機	6764	10.9	C
キーエンス	6861	96.2	A
新神戸電機	6934	49.9	B
村田製作所	6981	86.3	A
日本車輛製造	7102	34.4	B
トヨタ自動車	7203	34.6	B
三菱自動車工業	7211	18.8	C
ニコン	7731	50.5	A
オリンパス	7733	14.6	C
東京エレクトロン	8035	77.5	A
東日本旅客鉄道	9020	24.7	C
中部電力	9502	29.6	C
九州電力	9508	25.7	C

・7533 ゴンゾ は上場廃止のため評価していません。

1 ウ．自己資本利益率

自己資本利益率は、2009 年 11 月現在の直近実績値が 0%未満の企業は C、0%以上 5%未満は B、5%以上は A をつけ、評価しました。

会社名	証券コード	自己資本利益率(%)	評価
富士紡ホールディングス	3104	3.1	B

旭化成	3407	0.7	B
ゴンゾ	3755	-	-
IG ポート	3791	0.5	B
トクヤマ	4043	-2.93	C
日本化学工業	4092	3.1	B
ステラ ケミファ	4109	2.3	B
三井化学	4183	-22.41	C
三菱ケミカルホールディングス	4188	1.9	B
富士フイルムホールディングス	4901	0.6	B
日本カーボン	5302	17.7	A
住友電気工業	5802	1.9	B
エヌ・ピー・シー	6255	21.2	A
ホソカワミクロン	6277	9.8	A
東芝	6502	-46.76	C
オムロン	6645	-8.75	C
ジーエス・ユアサ	6674	6.3	A
日本電気	6701	-36.05	C
富士通	6702	-13.24	C
ワコム	6727	14.2	A
アルバック	6728	0.9	B
マスプロ電気	6749	0.8	B
パナソニック	6752	-11.61	C
シャープ	6753	-11.08	C
三洋電機	6764	-41.02	C
キーエンス	6861	8.7	A
新神戸電機	6934	5.4	A
村田製作所	6981	0.4	B
日本車輛製造	7102	3.6	B
トヨタ自動車	7203	-3.98	C
三菱自動車工業	7211	-20.7	C
ニコン	7731	7.3	A
オリンパス	7733	-44.35	C
東京エレクトロン	8035	1.4	B
東日本旅客鉄道	9020	11.3	A
中部電力	9502	-1.14	C
九州電力	9508	3.2	B

・7533 ゴンゾ は上場廃止のため評価していません。

・技術開発の特色

各企業が、それぞれの技術開発に対して、どのような評価を受けているかを調べました。

- ・ パナソニックは、以下の表彰を受けていました。
- ・ 文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）
- ・ （社）応用物理学会 フェロー表彰
- ・ （社）精密工学会 2009 年度秋季大会ベストプレゼンテーション賞
- ・ （社）日本電機工業会 平成 21 度（第 58 回）電機工業技術功績者表彰

・ ホソカワミクロンは、以下の表彰を受けていました。

- ・ 第五回 バイオベンチャー賞 グランプリ

・ 富士フイルムホールディングスは、以下の表彰を受けていました。（2009 年度）

表彰名	受賞内容・対象	実施団体
Best Imaging Innovation 2009-2010	デジタルカメラ用画像センサー「スーパーCCD ハニカム EXR」	EISA (European Imaging and Sound Association)
Best Imaging Innovation 賞	デジタルカメラ用画像センサー「スーパーCCD ハニカム EXR」	TIPA (Technical Image Press Association)
Best Compact D-Camera 賞	デジタルカメラ「FinePix F200EXR」	TIPA (Technical Image Press Association)
Best Photo Service 賞	欧州 フォトブック作成サービス「Photobook Brilliant」	TIPA (Technical Image Press Association)
DIMA 2009 Innovative Digital Product Award	デジタルカメラ「FinePix F200EXR」	DIMA (Digital Imaging Marketing Association)

・ 購入株式の決定

今までの研究の結果をまとめ、購入株式を決定するとともに、購入割合・金額も決定しました。

* 得点は、A=3 点、B=2 点、C=1 点 で換算しました。

* 購入割合は、小数第 2 位四捨五入しました。

会社名	コード				得点	順位	購入割合(%)	購入金額(円)
富士紡ホールディングス	3104	C	C	B	4	30		
旭化成	3407	B	B	B	6	13	4.5	224,700
ゴンゾ	3755	-	-	-	-	-		
IG ポート	3791	B	A	B	7	8		
トクヤマ	4043	B	B	C	5	24		
日本化学工業	4092	B	B	B	6	13		
ステラ ケミファ	4109	B	B	B	6	13	4.3	212,640
三井化学	4183	B	C	C	4	30		
三菱ケミカルホールディングス	4188	B	C	B	5	24		
富士フイルムホールディングス	4901	B	A	B	7	8	4.5	226,080
日本カーボン	5302	B	B	A	7	8		
住友電気工業	5802	B	B	B	6	13	9.6	480,340
エヌ・ピー・シー	6255	A	A	A	9	1	9	452,100
ホソカワミクロン	6277	A	B	A	8	3	6.6	332,050
東芝	6502	B	C	C	4	30		
オムロン	6645	B	A	C	6	13		
ジーエス・ユアサ	6674	B	C	A	6	13	8.4	419,520
日本電気	6701	B	C	C	4	30		
富士通	6702	B	C	C	4	30		
ワコム	6727	A	A	A	9	1	10.3	514,640
アルバック	6728	A	C	B	6	13		
マスプロ電気	6749	B	A	B	7	8		
パナソニック	6752	A	B	C	6	13	6.3	316,635
シャープ	6753	A	B	C	6	13	4.5	226,252
三洋電機	6764	A	C	C	5	24		
キーエンス	6861	B	A	A	8	3		
新神戸電機	6934	B	B	A	7	8	4.2	208,104
村田製作所	6981	A	A	B	8	3		
日本車輛製造	7102	B	B	B	6	13		
トヨタ自動車	7203	A	B	C	6	13		
三菱自動車工業	7211	B	C	C	4	30		
ニコン	7731	B	A	A	8	3	8.2	410,280
オリンパス	7733	A	C	C	5	24		
東京エレクトロン	8035	A	A	B	8	3		
東日本旅客鉄道	9020	C	C	A	5	24		
中部電力	9502	B	C	C	4	30	10.2	510,510
九州電力	9508	B	C	B	5	24	7.9	393,093

- ・ IG ポートは順位が高いですが、この時期に特に値上がりする要因が見当たらなかった
ので購入を見送りました。

- ・ 日本カーボンは順位が高いですが、値上がりする要因がなく、また投資するのであれば日本カーボンよりも二次電池業界に密接に関わっているジーエス・ユアサを購入したかったため、購入を見送りました。
- ・ マスプロ電工・キーエンス・東京エレクトロンは順位が高いですが、この時期に特に値上がりする要因が見当たらなかったので購入を見送り、その分は分散投資という観点から順位が低いながらも太陽電池の開発や将来での利用に大きくかかわるであろう住友電気工業・中部電力・九州電力に投資しました。

投資を決定した企業の購入に踏み切った理由をまとめてみました。

旭化成	化学品や樹脂製品の開発に注目した。耐火性や耐熱性のある材料を作っており、特異な状況での技術の運用に使われると思う。
ステラ ケミファ	太陽電池関連企業としてだけでなく、フッ化化合物による触媒促進など新材料開発の元となる。技術開発の基礎研究の助けになると考えた。
富士フイルムホールディングス	写真で培った技術には一目おいたが一番評価したのはその技術を生かせると思った業界に進出し、成果を挙げている点だ。医療機器から医薬品に活用しており、また、電子映像やイメージング技術なども研究の手助けになると感じる。
住友電気工業	ニュートンで紹介されていた、ジェネシス計画の電気伝達の部分の開発を期待して投資した。電気伝達でのエネルギー消費を抑えるというのはエコ技術を売る上で一つの課題といえる。
エヌ・ピー・シー	太陽電池のモジュール製作の会社。真空包装機械事業も今後の技術開発に保存などの用途で使われると考えた。
ホソカワミクロン	何でも粉々に粉砕する装置の技術が、他に類を見ないと感じた。その技術力と only one 性や、素材開発など新たな技術の

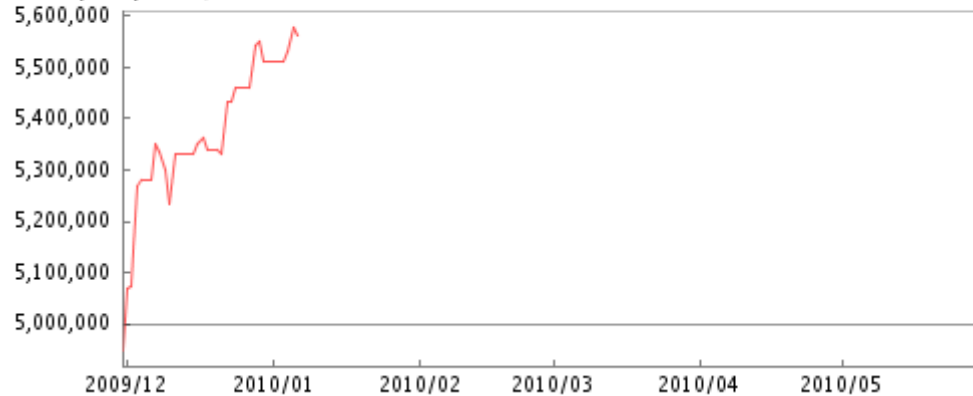
	生まれる元になると感じた
ジーエス・ユアサ コーポレーション	電池メーカー。エコカーへの使用を注目した
ワコム	3Dシステム、CADシステムなど技術開発の設計の段階で大きく関与してくると思えました。
パナソニック	二次電池の企業として投資した。エコの技術を売するという面からエコカー向けの開発を行っているパナソニックを選んだ。
シャープ	太陽電池製造メーカーとして選んだ。他のメーカーよりシャープを選んだ理由はナンバーワンのモジュール変換率はもちろん様々な所に設置できるというメリットを重視した。オーストラリア大陸縦断の実績からも分かることだと思う。日経新聞の記事でもあったように環境に対する配慮もあり投資することに決めた。
新神戸電機	太陽電池の装置製造メーカー。太陽電池の運用を促進するために投資した
ニコン	光学技術の企業として注目。顕微鏡やその他測定器など技術開発に必要な測定分野の発展は必須と考えた。
中部電力 九州電力	太陽電池を普及する上で電力会社ははずせないように感じた。太陽電池の技術はとても新技術と言えるものでは無くなっている。いまからは活用の事業を援助したいと比率も大きくした。

結果

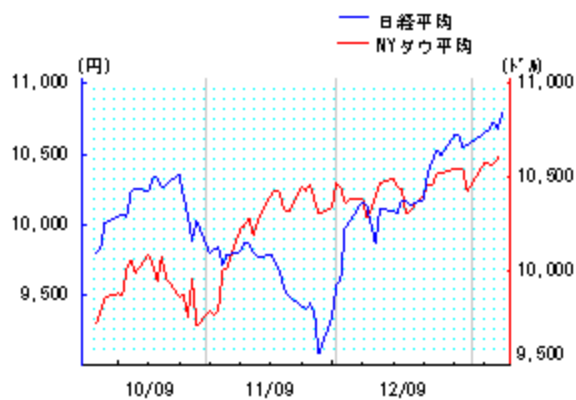
2009年11月30日～

MAX=5,576,005円

MIN=4,948,276円



私たちのポートフォリオ評価額の推移



日経平均とNYダウ平均の推移 (NIKKEI NETより)

私たちポートフォリオ評価額は12月初旬に急激に伸び、半月ほど停滞し、12月終旬から1月にかけて伸びるというグラフになっています。これは、ほぼ日経平均に沿っています。この要因として考えることは、比較的大きな会社に投資したということ、私たちが注目した会社の株価が期待通りの上昇を示してくれたことだと思います。

5．エピローグ

以上のような理由から、14種の株式を購入しました。現在（1月7日）、購入からおおよそ一ヶ月が経過しましたが、私たちのポートフォリオは1325グループ中で大体200～300位台と、比較的高順位に位置し続けています。最初は、株のことなど何も知らない、ただ興味本位でこのストックリーグに参加した私たち三人ですが、自分たちで調べ、考え、選定した株で、このような順位にいるということは、正直驚きです。思い返せば、日経会社情報の読み方すらわからなかったのに、今ではだいぶ株式のことにも詳しくなりました。また、毎日の新聞の読み方も変わりました。新聞のなかには、私たちが生活していく上で、のありとあらゆる情報が詰め込まれています。このような機会に恵まれなければ、あるいは一生知ることのない分野だったかもしれません。それだけに、日経ストックリーグに参加したことは、とても良い経験になりました。

6．参考文献

- ・『日経会社情報』日本経済新聞社、2009年。
- ・『日本経済新聞』日本経済新聞社、2009年。
- ・『ニュートン 2009年9月号』ニュートン プレス、2009年。